

「主があなたがたを愛されたから、 …力強い御手をもって あなたがたを連れ出し、…贖い出された。」

(申命記 7:8)

ハレルヤ！ 皆さんにご参加、お祈りいただきましたチア・コンベンション2007、神様の大きな祝福を感謝して終えることができました。ご参加くださった、あるいは、祈りで支えてくれた多くの皆さんに心から感謝申し上げます。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

神様からの望みを、心静めて待ち望もう！ そんなことが詩篇から、示されての開催でした。「私のたましいは黙って、ただ神を待ち望む。私の望みは神から来るからだ。」(詩篇 62:5)そして主は、今年も、圧倒的な勝利で応えてくださいました。

主に聞き従っていこうというチャーチ&ホームスクーリングの歩み、皆さんのまっすぐな心を、神様は祝福してくださっている、改めてそう思いました。チャーチ&ホームスクーラーの皆さんたち(様々な事情から、週2時間から始めておられる皆さんを含めて)への、主の約束とあわれみと恵みは変わらず、真実であると改めて思いました。

「会場が奈良で、遠いから、今年の関西地区は参加者が減るだろうな—と思ってた。でも、参加者がいっぱいびっくりした！」とある方が喜んで伝えてくれました。

各地区での登録者数は、それぞれ過去最高となり、新しい方を含め、たくさんの方が集まってくださいました(登録者数:関西会場 400名、東京会場 750名、福岡会場 220名…のべ参加者数 2200名)。

サムライ・クリスチャンの チャーチ&ホームスクーラーたちへ

基調講演者のリック・ポイヤーさんは、参加者の皆さんと出会い、主に従おうとする志を感じ、「サムライ・クリスチャン」と思ったそうです。東京コンベンションを終えた後、お別れの夕食での彼のことばです。「日本に来て、何度も涙が出た。今の日本は、私たちがホームスクーリングを始めた80年代と同じ困難、勇気と信仰がある。私は、必ず、日本に戻ってこなければならぬ！」。

8年めの変化

3度目の基調講演を務めてくれたジュリー・ホーンさんは、チア・にっぽんの立ち上げから関わり、日本の皆さんを「日本の家族」と呼び、ずっと祈り続けてくださっています。「私は変化と成長を感じた。2000年の立ち上がりのときは、多くの方がチャレンジを受け、喜んでくださり、『どうやってホー



ムスクーリングを始めるか?』……といった質問攻めにあって感謝した。今回は、『その後チャーチ&ホームスクーリングを始めたけど、言われたとおり、さまざまな困難にも出会った。でも私は、チャーチ&ホームスクーリングを続けたい。主に従い続けたい。どうやって、ホームスクーリングを終わりまで、続けていけるか?』……といった質問が、次々と寄せられた。深く心を打たれ、とても励まされた。心からうれしかった」とのことでした。

お父さんの参加が多かった

今回の特徴の一つに、お父さんの参加等が多かったことでもあります。父の役割にフォーカスした、『レガシー(遺産)—父から子どもたちへの10の贈り物』を書かれた、スティーブン・ローソンさんの存在がそのひとつの理由でもあったかとも思います。ニュージーランドでの講演を終えて、夜行便で日本に到着、1日の調整だけで臨んでくれました。「とにかく燃えた！」とのことで、7つのセッションを実施、とても好評でした。

感動のチャーチ&ホームスクーリング— 困難を乗り越えた先の幸せ

日本各地からのスピーカーもとても感謝でした。ホーム

スクーリングをしながら、9歳を年長に5人めの子どもをおなかに宿した中島啓子さんは妊娠7ヶ月で登壇。牧師夫人としてのプレッシャーもありつつ、妊娠と育児、そしてホームスクーリングで、昼間は疲れて、眠らずにはいられないそうです。でも、昼寝をしながら、幸せなホームスクーリングが続いているとのことです。

昨年、奥さんを突然の病で天国へ送ることになった松本明さん、3人の子どもたちの勉強が最近ようやく進みだしたとのこと。

乾奈々さんは、自称「どこにでもいるような普通のホームスクーラー」。クリスチャン子弟で育ちながら、「二つの顔ダブルスタンダード」を使い分けていた自分の道を進ませたくない、そんな思いでご主人と一歩、一歩、ホームスクーリングの道を歩み続けておられるそうです。

福岡の坂田元子さんは、6年前の軽井沢セミナーで、ますますチャーチ&ホームスクーリングへの思いを強められました。その後、ご主人と共に、チャーチスクールを助けていく方向に導かれ、同時に、病いから一度断念していた女医として、医療伝道に関わる道が大きく開かれていきます。

富山県の金子昭典さんは、周囲の無理解とプレッシャーが少しずつ溶けてきた中で自分の5人の子どもたちと、1人の子どもさんを預かり、ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールの道を進んできました。長女の基香さんは、昨春卒業して、関西会場であった関西聖書学院に進学、関西会場のコンベンションにて参加者をもてなされました。

福岡の渡辺英治さんは、2年前の白馬セミナーから帰宅後、心臓発作で倒れました。しかし、ホームスクーリングを決断、その後、社会保障や、ミッションの役割、サポート等、不思議な助けが与えられていったこと、そして今、チャーチ&ホームスクーラーの日常的なネットワークを形成されたいとの思いが与えられ、参加していた九州各地、四国、山口からの皆さんに呼びかけられました。ほかにも約60名あまりの講師陣のメッセージ…、「困難を乗り越えた先の幸せ」の枚挙に暇がありません。



カーウォッシュ (洗車) でサポート活動

福岡での大会を終えた翌6月16日、私はロサンゼルス of 自宅に戻りました。

前号でお知らせしたエミリ (10) の受洗後に牧師から与えられたチャレンジ、「一人に50ドル与えるので、それを増やしてどこかのミニストリーへ献金する」ための活動日であったため、急いで戻りました。コンベンション中も多くの方がこの話題に触れて個人的に私に話してくれて嬉しかったです。

エミリが選んだのは、バージニア工科大学の事件で子どもたちを失った家族への心のケアのミニストリーへの献金でした。前週には、クッキーなどを焼いて教会でのファンドレーズランチ (献金のための昼食) や、ファンドレーズウォーキング (5キロほど歩くことで、サポーターが約束した分の献金が得られる) など行われてエミリからは、日本の私に、うれしい電話リポートをくれていました。

カーウォッシュはエミリの企画で、サポート役のメリアンおばあちゃんの助けで、準備が進んでいました。ロサンゼルス空港到着後すぐにつけると、大人20人と子ども10人、約30人が手伝って、にぎやかに行われていました。教会は、150人弱の大きなので、かなりの割合で協力してくれたことになります。

「ミッションのためのカーウォッシュ、1台7ドル」とエミリが書いた看板。この日5時間で約170台、およそ1200ドル、15万円の収入でした。私も4台ぐらいですが手伝って、うれしかったです。洗礼を受けた11人の子どもたちが、約2ヶ月の期間中、7万円を元手に集めた全収入は、およそ100万円。工科大学のほかに、メキシコの伝道ミッション、白血病や糖尿病などの研究基金などに送られました。

ハリケーンで破壊された街へ

真祈史 (15) は、今月1週間、教会のユースグループ10人あまりとニューオーリンズに向かい、ハリケーンで破壊され、数千人の死者を出して今も復興途中の街や家屋の建て直しのボランティアに出かけます。そのための引率者と親たちとの準備会にも参加できました。教会のクリスチャンたちが、「宣教に心を向ける先陣となってもらいたい」と牧師は、70人を遣わしたイエス様の箇所をもって励ましました。「主は、別に七十人を定め、ご自分が行くつもりすべての町や村へ、ふたりずつ先にお遣わしになった。」(ルカ 10:1)

隣りのおばあちゃんのプール

感謝なことですが、今年に入って、我が家の一つ、プレゼントが与えられています。隣りの家にある7メートルぐらいのプールです (-)。我が家の隣りにはご主人が2年前に急逝された、おばあちゃんが一人で住んでいます。去年から、「プールをいつでも使って……」と言ってくれました。昨年は1度だけ、利用させてもらいました。「もっと、使ってくれと思ったんだけど……」と、残念そうに話してくれたこともあって、今年に入ってから時間があるときは、エミリと毎日のように泳がせてもらうようになりました。



エミリも僕もプールが大好きで、1回行くと2時間ぐらい泳ぎます。スタッフから、泳いでいるときに何考えているのと聞かれました。「一番は神様との体験。泳いでいるときは、水に身を委ねる感じになるでしょう。主に委ねる体験と重なるんだー」「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」(詩篇37:5)の体験です。

マリブ海岸の夏

エミリとは2回ほど、ビーチにも行きました。カリフォルニア・ブルーの青空の中に、フリーウェーを飛ばして40分、マリブ海岸のビーチです。広い太平洋の大波に飛び込んで泳いでいると、あれこれ考えることが、小さく、小さく思えてきます。「思い煩うな」ということですね。そして、主に委ねて、全力で神様に向かっていこうという気持ちに導いてくれます。

DVD「全力でイエスを愛す」制作で、 神様の御手を感じる

今回、コンベンション向けに制作したチャーチ&ホームスクーリング・DVD、4月初旬の時点では「スケジュール的に、今年は無理かな。今年、DVDなしでいくしかないかな」と考え、スタッフ内で検討していました。スケジュール的にまったく余裕がなかったからです。でも不可能かなと思えた中でしたが、結果的に神様はとてつもない貴重な取材や編集期間を許してくれました。人生の意味を深く問いかける長編でしたが、幼い子どもたちも含めてしっかり見てくださって多くの反響をいただきました。制作が許されたこと、心から感謝です。

皆さんの霊的な求め - 「全力で主を愛したい」

コンベンション、そして、その後の歩みの幸せの理由に、参加者の皆さん(背後で祈ってくださった皆さんを含めて)の霊的な求め、「全力で主を愛し、従いたい」という、その心を神様が喜んでおられるであろうことは、言うまでもありません。そうした皆さんを助けようという目的ゆえの、チア・コンベンションやチアの働きだから、神様が祝福してくれているのだと思います。

神様は、主の戦士「七千人を残しておく」(1列王記 19:18)と記述されていますが、まさに、神様が残してくれた「クリスチャン・サムライ」たちであることを思います。「3世代、5世代……主の再臨のときまで」の祝福も含め、今後、ますます、楽しみです。

心のつながり - 主が愛されたから

今年のコンベンションは、それぞれの地域の皆さんと、なにか温かい心のつながりを一層、深く感じた気がしました。

関西地区では初めての宿泊型で、時間的にも、ゆったりした感じの開催でした。会場となった関西聖書学院の神学生の皆さんたち約50人は、宣教に旅立ったり、牧会、将来の結婚・子育てを考えておられる方も多くおられました。卒業生の何人かの方々から、「スゴくいいから、全部休講にして、参加した方がいい」と励ましもあったそうで、全員で参加くださいました。そして、参加者を心からもてなしてくれました。その歓迎されている気持ちは参加者に伝わり、とても良かったという声が多数、上げられました。若き伝道者たちが、チャーチ&ホームスクーリングに目が開かれていることは素晴らしいですね。

九州での初めての開催も祝福され、福岡会場の皆さんとの交わりもとてもうれしかったです。会場の福岡クリスチャンインターナショナルスクールの子どもたちとも、とてもよき時が過ごせて、大好きになりました。同スクールには、いろいろな理由等から、寮で過ごす、中高生の皆さんも10数名おられます。土曜日には、近所の掃除をしたりして地域でも評判の子どもたちで、パン屋さんやラーメン屋さんからの差し入れもたくさんあるそうです。私たちも、そのパンにあずかりました。子どもたちも、とてもよく手伝ってくれました。開会前日のセッティングも終了後の片付けも、一生懸命、手伝ってくれて感謝でした。全ての親御さんは必ず参加、欠席の場合はCDを聴いてレポート提出と、課題を出す程の情熱を持って臨んでくれました。

ボランティアと言えば、3つの会場とも、開催中のボランティア・スタッフ、終了後の後片付けを手伝ってくれる方々の数も、例年に増して増加していたこともうれしい特徴です。「こんなに大変な作業であったことを、これまで知らなかった! どうして気づかなかったんだろう」と言って、喜んで手伝ってくれました。毎回、募集してますので、これからもよろしく:-)。

「主があなたがたを愛されたから」(申命記7:8)「全力で神様を愛す」(申命記6:5 参照)、「主の御心がなりますように」と神様に示されながら、魂を獲得し、弟子訓練し、伝道・世界宣教に向けていくこの歩み、皆様の励ましと応援、祈りを心から感謝いたします。

続けて、チア・サマーキャンプの準備に入っています。皆様のご参加とお祈り、引き続き、お願いいたします。

「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」(申命記 6:5)

「みこころが天で行われるように地でも行われますように。」(マタイ6:10)

チア・にっぽん

コンベンション 大人・子供アンケート



・ジュリーさんは同じ母として、とても心に同意できるものでした。フィリップさんはとても直接的で心にストレートに来ます。青木先生は1つ1つていねいでよくわかりました。

ずっと一緒にやりたかった娘が中学生になりました。今回のコンベンションで親としての使命に、もう一度、探りを入れられた感じです。まずは土曜日に、娘のために時間を使います。たとえ少しの時間でも。聖書とあと1つ。ジュリー先生の講演で話されたように、「子どもに何を伝えるか」を見失わないように――。(奈良 大野千秋)

・私にとって意義のある日でした。初めてチアのことを知り、子育ての大切さ、もとなる神の御心を知った。ホームスクールがあることをもっと早く知っていたら……(神様のことを知るのも遅かったのですが)。今日、話を聞いて、我が子にできなかったぶん、孫たち、もっと多くの人に神様を知って欲しく、とても勉強になりました。(広島 小林満子)

・ホームスクーリングしたい！ …でも、できるだろうか？ という気持ちで参加させて頂きました。やはり神の御心にまちがないという確信を頂きました。ありがとうございました。(愛知 柿本ひかる)

・思った以上に良かった。ジュリー・ホーン先生はBaseがよく分かった。フィリップ・ブローマン先生が一番大事なことを話して下さい、青木先生で論理的に受け取れて、これから先の分科会に期待できます。(兵庫 西尾絹子)

・毎回、回を追うごとに同じ思いを与えられている人が増えていること、子どもたちの主にある成長に喜びでいっぱいになります。今年は3歳の上の子もチルミニで大変お世話になり、本当に感謝でした。子どももチルミニで大変楽しんでいました！ ありがとうございました。

リック・ポイヤー氏、スティーブン・ローソン氏、ジュリー・ホーン氏、そうそうたるメンバー！ どなたも皆はげまされ、元気をいただきました。リック・ポイヤー氏の分科会「社会性の農」の中で、「学校の中の子どもたちは誰かが不幸になると笑う。誰

かが助けを求めると軽蔑する」と語られましたが、コンベンションの中で3歳の上の子が、チルミニの時間外に行方不明になった時、お友達みんなで一生懸命探して下さい(すぐに見つかりました)、1歳の下の子がお腹をこわして、トイレも私の服も汚してしまった時も、小さいお友達まで「大丈夫？大丈夫？」と優しく声をかけてくれました。チアのお友達は本当に優しく愛に満ちて育っていますね。「世の光」です。クリッカ氏のご家族のビデオも勇気づけられ、涙が出ました。(埼玉 山口紅美子)

・毎回参加する毎に「家族に会う」ような思いです。多くの人と出会うごとに、「主のご計画があるなあ」と思われます。(千葉 井澤紋庸)

・素晴らしかったです。チルドレン・ミニストリーでは子どももめいっぱい楽しんで、親がフリーで動け、じっくり話が聴けました。心から感謝です。子どもたちは主から授かった宝、ホームスクールのことを知って、主の教育ができる大いなる特権、恵み、そのことを再確認できました。どの講演も分科会も恵まれ、励まされました。特に、ビデオ上映、ポールさん、クリッカ先生のいのちをかけて主に仕えておられる姿に心から感動、涙、涙でした。

今年4月から3人の子ども(小6、小4、小1)のホームスクールを始めました。母教会の牧師、教会の兄弟が礼拝時、心をこめて祝福を祈って下さり、主に祝福され、子どもたちと毎日充実した楽しい日々を過ごせています。感謝します！(東京 堀井卓・ユリ)

・ハレルヤ！ 大変恵まれました。稲葉さん、スタッフの皆さん、チルミニの皆さん、本当に感謝します。いやされました。赤ん坊を連れての参加でしたので、ホールの外のモニターで講演を聞いて、本当に助かりました。先輩のホームスクーラーの方々から高卒認定試験やアメリカの通信教育のことなど情報ももらえて、少し安堵しました。(東京 藤原樹里)

・とても恵まれた2日間でした。何よりも神様と自分自身の関係を密にすることが大切だと痛感しました。チャーチスクール5年目です。現在はチャーチスクールとホームスクーリング・ハイブリット型です。父親としてどう関わったらよいか課題でしたが、今回たくさんのヒント、知恵をいただきました。(無記名)

・とてもよかった。ホームスクーリングは神様からの命令であり、聖書のみことばの実現であることを感じました。良かった講演：「わたしの目には高価で尊い」(濱田誠)「十人十色のチャーチ&ホームスクーリング」(渡邊孝至・奈津子)。(埼玉 酒本成美)



・まず神様の前に自らが本当に悔い改めと新生を与えられて、子供たち1人1人に応じた目を神様によって与えられること、またその前に妻と、母と本当に愛の関係に入れられて、家族が聖書に示されたあるべき神の家族として成長させられていくべきことを深く教えられ、本当に感謝でした。皆様のお働きの為、祈らせていただきます。(長野 長瀬潔)

・大変素晴らしい、感動しました。特に「自信に満ちたホームスクーリング」「社会性の罫」「箴言：神の人格カリキュラム」(リック・ポイヤー)「人間の言い伝えと神の戒め」。(宮城 谷後義則)

・年々、聖さとともに温かい親密さを感じます。とてもよかったです。感謝します。今のように続けて下さったら、もうそれで感謝です。いつもいつもありがとうございます。(東京 大畑貞雄・真紀子)

・すばらしかったです。充実した分科会にびっくりしました。基調講演2「レガシー(遺産)」と西村先生の分科会「福音のバトンタッチ」がとてもよかったです。昨年からはチャーチスクールをはじめました。今、成長中です。教師が与えられるのが祈りの課題です。(千葉 米本若穂)

・くじけそうになる気持ちに励ましを頂きました。この励ましのおかげで、また私自身正されて帰ります。あらためて、親が権威に従順であること、感謝することの大切さを今回、学びました。実践したいです。良かった講演：「意思を備えよ！ 遅くなる前に」(スティーブン・ローソン)。(栃木 若生千早)

・とても恵まれ、チャレンジを受けました。良かった講演：スティーブン・ローソン先生のシリーズ、「武士道とホームスクーリング」(花元浄一)。(埼玉 小西辰則・智恵美)

・よかったです、すごく。土曜日の朝のビデオに励まされました。(神奈川 ロケ証子)

・オープニングから、ビデオによるブローマンさんの言葉に学ばされ、チルミニのステージで、子どもに「また泣いてる」と笑われてしまいました。リック・

ポイヤーさんをずっと拝聴していました。本当に良かったです！ HSの意義を、本当にわかりやすく説明いただきました。主の知恵で全ての土台であること、そのために家族のあり方が大切なこと/励まされました。スティーブンさんもジュリーさんもすばらしいスピーカーで、マガジンを楽しみにしています。(東京 藤武綾子)

・今回は主人の両親も一緒に参加してくれました。「ホームスクーリングしている人は偉い！」「子どもとずっと向き合えるのは幸せだ」「これはすごい英才教育だ」と言ってくれました。私の両親も今は賛成してくれているので、4人のおじいちゃん、おばあちゃんに応援してもらえるようになって、本当に大きな恵みに感謝です。良かった講演：「社会性の罫」「何でもOK！～Q&A」(稲葉寛夫)。(東京 亀川偉作・奈美)

・情報いっぱい、恵みいっぱい楽しかったです！いつもチアの方にはおまけしてもらったり、値引きしてもらったり、感謝します。毎回、ここでクラブをたくさん仕入れさせてもらってます。稲葉さん、たくさん輸入して下さいありがとうございます。和紀子さんにも感謝します。HSをしていて、最近初めて、子供への性教育をするのは母親(父親も)の務めだと気付いて、とまどっていましたが、今回、辻岡先生、藤田先生の「性」の話題が参考になりました。子供たちに親がする「性」の教育についての分科会、引き続きお願いします。辻岡先生や藤田先生に、子供たちに対して分科会をもっていただいても、親のヘルプになるなあと思いました。(北海道 成田久美)

・1日目午後から、2つのブロックに参加させていただき、とても嬉しく感動しています！良かった講演：「レガシー」。献身者のためのコンベンションと錯覚する程、霊的に高いバランスのとれた霊的教えでしたので、とても驚きました。ホームスクーラーのママ先生たちに是非とも必要な第一ステップと感じ、いつもとても良いご配慮をしていると感心致しました。(埼玉 石原仁美)

・最初のビデオから感動で2日間、涙が止まりませんでした。初めて2001年10月の小松のチアのセミナーに出て、神様にふれられた時と同じでした。涙が止まらないのです。主の臨在が豊かにあふれていました!!

講演はどれも良かったです。現在、自分が教えられている事が再確認でき、確かに主の知恵によって導かれていることが、とてもうれしかったです。スティーブン・ローソン先生のメッセージの中で、妻が夫に従順する姿を子供たちが手本にする。結局、子供たちが父・母に従う手本を見せる役割が母にあること。これは私が今、教えられ、毎日、毎日、主に従うように夫に従う訓練を受けているところです！(富山 金子まゆみ)



チア●にっぼん

・自分が霊的に停滞していると思い知らされました。主のみこころを求め、主に従っていきたいです。良かった講演：基調講演全部。分科会「実際に関わるお父さん」(リック・ポイヤー)「意思を備えよ！ 遅くなる前に」(強い腕力と優しい心)(スティーブン・ローン)。(東京 桐藤真也)

・会場も広く、すべてにおいて充実していました。東京にいながら、緑の中、よい場所です。内容も充実して、2日間あっという間でした。たくさんの励ましを頂きました。子供たちもよく遊び、良い時を過ごせようです。

3年目に入り、ようやく何に目を留めるのか知りました。何を成し遂げるといふより、今、生かされている時、主がどう語っておられ、喜ばれることを選び取り、父、母を敬うという訓練です。従順と忠実を学んでいます。喜んで主に感謝をささげていることで、あとは主が働いて志しを与えて下さることに信頼する日々です。(富山 森道代)

・久しぶりにゆっくりと参加でき、感謝でした。今回は特に赤ちゃんの姿が多く見られびっくり、とても恵まれた時をすごしました。教会に属していても、こんなにイエス様づけになれるのは、チアだけです。良かった講演：「自信に満ちたホームスクーリング」。(静岡 太田君子)

・いつも励まされます。スタッフの皆様の献身的にご奉仕、ただただ感謝です。良かった講演：「後悔しない子育て」(ジュリー・ホーン) (証に裏づけられた良い話)。「芸術をいかに教えるのか」(ジュリー・ホーン) (とても実践的、こういう話が聞きたかった!)。(神奈川 井野元睦子)

・去年に続いて2回目の参加です。ホームスクールの励ましを頂きました。ありがとうございます。リック・ポイヤー氏、ジュリー・ホーンさんのお話よかったです。分科会では、アイバーソン師のものが一番参考になりました。具体的かつ適用しやすいです。

P. S. 8日(金)の北海道HS交流会の最初のふりつけ賛美よかったです(死んだラザロのところを受けました!)。ビデオが解説楽譜ほしいです。(神奈川 中村昌代)

・何名か初めて参加する人(CSスタッフ)を連れて、共に参加することができました。分科会では自分のニーズに合うものがいくつもありました。毎年すばらしいスピーカーをアレンジして下さい、本当にありがとうございます。(千葉 堀野陽二)

・コンベンションが開催されると聞いた時から、とっても楽しみにしていましたが、期待していた通り(それ以上!)、良かったです。講演や分科会、そして多くの方との出会いに感謝です。金エシュルン先生の講演、マイク・スミス先生のビデオメッセージ、2日目の稲葉先生、村下先生の分科会がよかったです。是非! 福岡でまた開催して下さい。(福岡 岡本里佳)

・九州地方にも、チャーチ&ホームスクーリングが広がっていることを体験でき、とても励まされました。子どもたちも。良かった講演「親がする子どもへの生・性・聖教育」。(山口 石原和美)

・初めて参加しました。スタッフの方に子供を1日見て頂き、夫婦で集中して聞くことができ、感謝します。福岡に来てくれて感謝です。是非2008年も九州に――。良かった講演「ホームスクールとチャーチスクールの心構え」「チャーチ&ホームスクーリング入門コース」(熊本 末宗ヨシユア)

<子供>

・チルミニが楽しかったです(パンツリレー、王様ゲームなど全部楽しかったです!)。コンベンションがあつてうれしいです。いつもありがとうございます。(東京 10歳 藤原佑里子)

・また来たいです。たくさんの人とあそべて楽しかったです。(富山 11歳 森美月)

・おともだちとあそんだことがたのしかったです。ありがとう。(千葉 6歳 井澤えすてる)

・とても楽しい。やっぱりイエスさまを知っている者どうしはすばらしい。(群馬 12歳 矢島志温)

・ゲームや歌や工さく、ぜんぶ楽しかった。(山口 9歳 石原未悠奈)

・ホームスクールやチャーチスクールの大事さを学びました。とても、おもしろくて良かったです。(福岡 15歳 栗根愛継)

・一日目、先生とハサミで紙を切って、ハートを作ったよ! ありがとう。楽しかった!! (熊本 2歳10カ月 末宗エリヤ)

・めっちゃ、よかったです。(福岡 14歳 野見山唯)

メール＆ボイス

ハレルヤ！我が家の3才児は、マガジンが愛読書で、トイレに持ち込んで、足がしびれるほど熱心に読んで？見えています。いつも、マガジン、ニュースレターを感謝します。
東京 桐山明日美

ハレルヤ！お元気ですか？実は、今年度、上栄（長男）の小学校のPTA会長になってしまいました。最近、日本では学校関係、子供の事件、いじめなどが多く、今福音を伝え、聖書の中に答えがあることを大胆に語っていると思います。先日、総会で父兄の前で語る機会があり、ポール・プロマンさんのご家族のこともご紹介しました。もっと大胆にこれからも主が教えてくださったことをノンクリチャンに分ち合っしていきたいと思えます。これからもチアの働きのために祈りしております。心から愛を込めて・・・
星野恵美子

チアコンベンション本当に本当にお疲れ様でした。今年も全力疾走のチアスタッフ、チルミニスタッフ本当に感謝します。今年も恵まれました。ジュリー・ホーン先生の回をおうごとに素晴らしくなって行くセミナー、そして那須家、J.CのDVD、自分のは2度と見る勇気なかったけど、映像の力？稲葉さんの取材力と料理のうまさ？を実感しました。那須家はありのままだけど、うちのは、何十倍にもよく見えて、J.Cってけっこういいとこなんだな～と知らされました。それとまだ全面的なホームスクールには入っていないけど、毎回コンベンションなどに参加している2つの家族にお会いし、その熱さにすごく励まされました。すでに始めてるこっちの方が温度低いな～と反省させられました。PS：サマーキャンプのLTを申し込みます。チア・につぼんのますますの祝福を祈りつつ
大阪 J.C 田中 照美

東京のコンベンションに参加して、今回はしみじみと腑に落ちる言葉が、心に残りました。私たち家族は、普段、自分の生活の周りにホームスクーラーのご家族がいないので、(誰でもそうかな?)今、小学生の真ん中に差し掛かった子供が、将来どうなるのか、そのために今は、何を取り組ませたらいいのか、祈りつつも時々不安になってイライラしたり、焦ったりしていますが、今回、何人かの中学生のお子さんをホームスクーリングしているお母様方と立ち話をする機会が与えられて、「ホームスクーリングは、一日、一日をいかに、神様のみ言葉に従って生きるか、ということなのよね」とか、「神様は、すでにこの子にご計画をお持ちで、隠された奥義が啓示されていくように、私たちは、それが、神様の時に現れされていくのを見せていただくだけなんです」とか、教えて頂きました。

マニュアル世代の私としては、何とも捕らえどころの無い、難しい言葉だ、としばらく首をかしげていたのですが、最終日の朝に、多発性硬化症のクリス・クリッカ弁護士の生活のビデオを見せて頂いた時、奥様のトレーシーさんが「私にとって、ホームスクーリングとは、明日、クリスは死んでしまうかもしれないけど、今日、クリスは生きていて、今日、家で7人の子供をホームスクーリングできるということです。」と語られて、さらに、クリス・クリッカ弁護士が、毎日、息子さんの助けを受けながら生活し、プールやトレーニングマシンで、懸命に体を動かしながら、(見ているだけでも痛そうでした)「発症したばかりの時、医者は私を診察して、三年前にはもう私の体は動かなくなっているだろうと言ったけど、今、私はまだ動いていて、仕事もできる」と語っておられたのを見て、神様から答えを頂いたような気がしました。

確かにホームスクーリングって、毎日なんだ。今、与えられている環境と信仰と健康とかの全部で、神様に従って生きることが、結果として「隠された奥義が啓示されるように、穏やかに見えてくるものなんだ」って、しみじみと腑に落ちて、コンベンションに出席できたこと、私のぶしつけな質問に答えてくださったお母様方、ビデオで生き様を見せてくださったクリッカご家族の皆様、そして私をここに導いてくださった神様に感謝があふれてきました。「結果が見えなくても、今は、そのまま続けなさい」と、神様に肩をポンとたたかれたような気持ちです。感謝します。
東京 匿名

おめでとうございます！



飯田克弥 & 美貴子 夫妻
飯田力君・勇氣君

若井和生 & 千鶴子夫妻
終(しゅう)ちゃん
2月15日生まれ



清野使門 & 結実子夫妻
清野尽(つくし)ちゃん
5月1日生まれ

だ、痛みや違和感が、ケガをした左足に若干、残っ

第2回チア・にっぽん読書感想文大会 50名が受賞!



東京会場



大阪会場

第2回チア・にっぽん読書感想文大会にたくさんのご応募ありがとうございました。小学生の部、中・高生の部、大人の部の3部門に、50の優れた作品が寄せられました。チア・コンベンション関西会場、東京会場では受賞式が行われました。

読書感想文は、海外のチャーチ&ホームスクーラーたちにおいても、大切に扱われます。読書の大切さ、考えること、また自分の考えを表現する力を養うことの練習になるからです。また、小論文や大学等でのレポート、論文の筆記の備えになるでしょう。また、実社会においても、文章からの情報収集、思考活動、そして、表現すること、相手にコミュニケーションしていくことへの宝のような備えの一つとなっていくでしょう。

また、霊的な面においても、聖書的な良書と出会うことは、大きなプラスをもたらすものと思います。このような目的から、読書感想文大会をさせていただきました。

作家の三浦綾子さんに、「よき作品を書く秘訣はなにか」と尋ねたことがあります。「これは伝えたい!とあなた自身が強く、感動したこと、心動かされたことを、そのまま書くことですよ。うまく書こうと思わないで」ということでした。これは感想文だけでなく、人とのコミュニケーションや、多くの日常生活にも応用できることではと思います。

当日は、チア・にっぽんからの副賞に加えて、大阪のチア会員の今井 一穂さんから、多くの副賞のご提供もいただきました。心から御礼申し上げます。

今回の作品は、それぞれ、読み応えのある素晴らしい作品でした。受賞作品の中から一部を紹介します。

チア・にっぽん 読書感想文 受賞作品から

チア・にっぽん最優秀賞 (中・高生の部)

長瀬 真理子 (長野)

この「いばらの生け垣」を読んでいて、ジョンが私にそっくりなので、まるで自分自身から話を聞いているように、心から共感して読みました。読んでいるとき、昔のジョンは、おろかで醜くてみじめでどうしようもない人だと思いましたが、それはジョンに対する気持ちというよりも、自分自身に対する思いでした。そして、それと一緒に、ジョンがかわいそうになって、悲しくなりました。これも、自分自身に対しても思っていることです。

自分のために愛をもって置かれたいばらの生け垣を突き破って罪に突き進む姿は、なんて哀れなんだろうと思いました。でもそのように心から思

っても、「いばら」の美しい花をつかみ取らずにいることは、私にとって非常に難しいことです。美しい、と書きましたが、それがどんなに醜いものか本当はわかっていて、また、本当はつかみたいとは思っていないのです。ローマ七章を思い出します。ジョンの姿を見たとき、私には本当に救い主が必要だと心から思いました。

一方、ベルの姿を見ると、なんて美しい人なんだろうと思います。ベルが登場するとき、とてもうれしくなりました。お父さんが亡くなった後、ジョンが嘆きながら話していたときに、ベルが微笑んでいた、という場面では感動して涙が出そうになりました。ステファノが捕らえられ、ありもしないことを訴えられているときにうかべていた天使のような顔のことを思い出し、ベルはきっと同じ顔をしていたんだと思いました。その微笑みは、まさにイエス様と共にいばらの栄光の道を歩んでいることの証しだと思いました。そし

て、そのような狭くて険しい道さえも、微笑みがこぼれるほどの喜びの道に変えることのできるイエス様に対して、何か畏れのようなものを感じました。

この本から教えられたことの中で一番心に響いたところは、たとえ道が険しくなり、また、神様が私のために苦しみの道を選ばれたとしても、「キリストの富は、この世においても、来るべき世においても、より大きなごほうび」だということです。お父さんがジョンに語った教えの一つです。

私は特に、キリストの富がこの世においても、そこでの苦しみに勝って大きいということを知って、本当にうれしかったです。聖書にも何回も書いてあるはずなのですが、私は今までなんとなく、クリスチャンの幸せは死んだ後の天国にある、という思いが強くて、この世で生きているときの喜びや支えがあまりわかりませんでした。だから、天国はたしかに楽しみだけど、今生きているこのときには、喜びなんてあるのかなあ、とっていたのです。そう思ったのは、今の私はまだ、神様からくる現実の生きた力を感じて生きていないということもあります。ジョンと同じく、頭の中での信仰なのです。

でも、私はこの世においても、イエス様と現実にはっきり出会うことを切望しています。そしてここで、「キリストの富」、イエス様が私と共に歩んでくださるといふ恵みが、この世においても私に確実に与えられているということを知った今、私はますます、それをわかりたいという思いが強くなりました。イエス様によって、たとえ苦しい道でも圧倒的な勝利者として、喜びの人生を歩みたいと思いました。

その道を歩ませるために置かれたのが「いばら」なんだとわかりました。私にも思い当たるいばらがいくつもあります。神の道からすぐに外れそうにな

る私は、よくいばらのとげに引っかかってとても痛い思いをします。また、神様が私のために選ばれた険しい道が、苦しすぎると思うときもあって、そのときは本当に大変です。でも、それらは私に、イエス様が私のそばにいること、そしてそれはこの世のどんなものよりもすばらしいことをわからせてくれるものでもあります。私にはまだ確信がないのですが、それらは私に何度となく、キリストの富の存在を思い出させてくれるのです。そのとき私は、再び本当の喜びのことを思い出します。

このいばらについて、よく覚えておきたいと思ったのは、このいばらが私を喜びの道にとどめてくれるものであること、そしてその一方で、そのとげに刺されるとき、非常な痛みがあるということです。これらは二つとも、神様からの愛の恵みなんだとわかりました。神様は、私の一番の幸せは神様御自身が私と共に歩んでくださることだということを知存知です。そしてその幸せの中にとどまっていられるように、いばらを置き、また、道を険しくなさせたんだと思いました。私にとっての大きな希望は、私が神様と共に歩むとき、神様が私のためにこのいばらをバラの花にし、険しい道をそれに打ち勝つ圧倒的な喜びに満ちて歩けるようにしてくださることです。



神さまを心を尽くして求めたいです。そして、神様と共にこの人生を歩み、神様によってこの命を生きたいです。

準チア・にっぽん賞 受賞 (小学生の部)

「エイミーのたいわん日記」をよんで

名古屋 森山 佳音 7才

わたしは、エイミーのたいわん日記のおはなしのようなことが、おこったことがあります。そのことが2かいつづいたときに、エイミーのたいわん日記をおもいだします。でもチア日本にこのことをだせるなんて、かんがえられませんでした。



わたしがエイミーで、ほかの子たちは、ジェシカのグループのようでした。でもミッキーのような子は、だれもいませんでした。わたしひとりでした。このときうちにかえっておかあさんにいいました。そして、いっしょにおいのりしました。でも1かいそんなことがあってから、ながい日がつづきました。でもある日、その子たちにあつたときに、むこうからあやまってきました。それで、よるまでいっしょにあそんでしまいました。そしてかえりみち、その中のひとりの子のおかあさんにあいました。そして、おかあさんどうして、はなししました。だからかみさまは、すごーいとおもいました。

チア・コンベンション2007 DVD&CD情報

- ☆ 基調講演・分科会収録CD 各500円(税込み)
(CDは、現在作成中です。少しお時間がかかります)
- ☆ 基調講演・分科会 全75講演入り DVD (音声のみ・mp版)
定価7500円(税込み) → 8/31まで特価 5800円

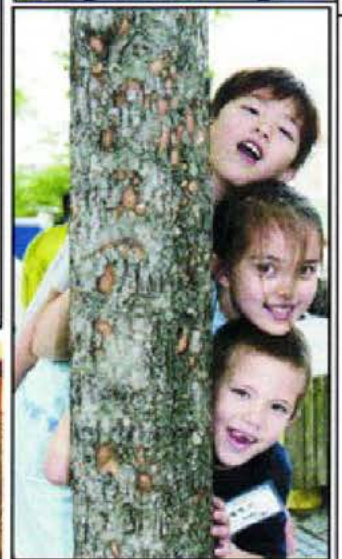
大阪&東京&福岡コンベンションで収録された75の講演(「社会性のワナ」リック・ポイヤー、「レガシー(遺産) 全ての父が子どもたちに遺すべきもの」スティーブン・ローソン、「弱っている人々への希望」ジュリー・ホーンほか)や分科会などを一挙に聞けるDVD(音声のみ・mp版)です(本DVD-ROMは、パソコンのDVD、また、DVD-R再生機能のついたDVDプレーヤーでご鑑賞頂けます)。速報盤 - 3会場で大好評!



☆ DVD「チャーチ&ホームスクーリング - 全力でイエスを愛す」

前編(51分)・後編(45分)各1000円 → 8/31まで特価 各 800円

- ・ポール・プローマンさん、クリス・クリッカ弁護士らのいのちをかけておられる姿に心から感動、涙、涙でした。(東京 Aさん)
- ・よかった!! 那須家のホームスクーリング、大変素晴らしい! (京都 Bさん)
- ・わかりやすい! (福岡 Cさん)
- ・ポールさんのことばに学ばされ、また、泣いていると 子どもに笑われました。(東京 Dさん)
- ・「今日、一日、一緒にいれることが感謝。」トレーシー夫人のことばが、合言葉になりました。(埼玉 Eさん)
- ・幸せそうだ。それがわかる。(福岡 Fさん)
- ◎ 午前4時30分からの勉強? 3年越しで子どもたちに勉強のやる気が与えられていく秘訣、その鍵を握る「キリストとの関係」
- ◎ 「ただキリストのためにしたことだけが残る。後は全てむなししい」……チャーチ&ホームスクーラーを愛し、応援し続けるポール・プローマンさんの闘病を通してのドキュメンタリー
- ◎ 8人の生徒が3人に減った……そのとき、チャーチスクールは
- ◎ 「主の御心がなりますように」……法廷でホームスクーラーを勝利に導き続けたクリス・クリッカ弁護士家族の苦難と幸せの法則! ほか



☆ 初登場! DVD スペシャル メッセージ 各700円

- クリス・クリッカ HSLDA(ホームスクーリング法的擁護協会)主任弁護士「ホームスクールのこころ」(メッセージ 25分 インタビュー 25分)
・とても励まされた! (東京 Aさん)
- マイク・スミス HSLDA(ホームスクーリング法的擁護協会)代表弁護士「神の国の拡大とホームスクーリングの選択」(メッセージ 35分)



- ☆ チア・エバンジ 大阪&東京&福岡 全75講演 定価7500円 07年8/31までお申し込み 特価5800円 () 枚 () 円
- ☆ DVD「チャーチ&ホームスクーリング イエスを全力で愛す」前編(51分) 1000円 8/31日までお申し込み 特価800円 () 枚 () 円
- ☆ DVD「チャーチ&ホームスクーリング イエスを全力で愛す」後編(45分) 1000円 8/31日までお申し込み 特価800円 () 枚 () 円
- ☆ クリス・クリッカ HSLDA主任弁護士 DVD メッセージ (映像付き) 700円 () 枚 () 円
- ☆ マイク・スミス HSLDA代表 弁護士 DVD メッセージ (映像付き) 700円 () 枚 () 円
- 「レガシー 遺産 一父から子どもたちへの10の贈り物」スティーブン・ローソン著 1980円 () 冊 () 円
- 「社会性のワナ - レッテル貼りを打ち破れ!」リック・ポイヤー著 1680円 () 冊 () 円

フリガナ	フリガナ	合計 () 円
お名前	教会名 または 学院名	代引希望の方(午前中/12~14時/14~16時/ 16~18時/18~20時/20~21時)
フリガナ ご住所 (〒)		電話番号